

宝塚市まちづくり協議会代表者交流会（令和4年度・第8回）議事概要

日 時 令和4年（2022年）12月14日（水）14:00～15:40

場 所 市役所3階 特別会議室（オンライン併用会議）

出席者 <まちづくり協議会>

（対面参加者）

仁川まちづくり協議会 綿 昭人会長

宝塚市光明地域まちづくり協議会 小林 敏明副会長

宝塚市西山まちづくり協議会 久保田 洋一会長

まちづくり協議会コミュニティ末広 豊田 茂男代表

宝塚市すみれガ丘小学校区まちづくり協議会 押条 雅英代表

宝塚小学校区まちづくり協議会 喜多 毅会長

安倉地区まちづくり協議会 岡本 康夫会長

宝塚市山本山手地区まちづくり協議会 安達 みづほ代表

（オンライン参加者）

宝塚市高司小学校区まちづくり協議会 川島 昭会長

宝塚市良元地区まちづくり協議会 平田 武二会長代行

宝塚市末成小学校地域まちづくり協議会 加藤 富三会長

宝塚第一小学校区まちづくり協議会 山本 敏晴会長

逆瀬台小学校区まちづくり協議会 石谷 清明会長

売布小学校区まちづくり協議会 笹田 光治会長

小浜小学校区まちづくり協議会 藤本 真砂子会長

宝塚市長尾地区まちづくり協議会 阪上 良彦会長

中山台コミュニティ 松下 義弘会長

宝塚市長尾台小学校区まちづくり協議会 三島 基道会長

宝塚市西谷地区まちづくり協議会 二井 久和会長

<その他>

市民交流部 浅井室長

市民協働推進課 新城課長、岡田係長 他

上下水道局 福永上下水道事業管理者

上下水道局 総務課 松永課長

上下水道局 経営企画課 榎本課長、川西係長

宝塚NPOセンター 馬越氏、西中氏

宝塚市社会福祉協議会 前菌課長

傍聴者 なし

議事概要（要旨）

- 1 宝塚市まちづくり協議会代表者交流会（令和4年度・第7回）議事概要の確認
各まちづくり協議会代表者により、上記議事概要の確認が行われ、修正後、ホームページへ公開することが承認された。

- 2 地域ごとのまちづくり計画
 - (1) 「推進シート」及び「対話シート」の状況報告
市民協働推進課より、配布資料に基づき、実施状況の報告があった。
宝塚市高司小学校区まちづくり協議会、逆瀬台小学校区まちづくり協議会、宝塚小学校区まちづくり協議会の推進シートが共有され、該当のまちづくり協議会から報告があった。
 - (2) 令和4年度地域ごとのまちづくり計画進捗確認の実施
市民協働推進課より、配布資料に基づき、進捗管理（年間確認）のための話し合いの場についての情報提供、「令和4年度進捗確認シート」の提出（令和5年3月末メ）の依頼があった。

- 3 地域活動のデジタル化
 - (1) 10/12（水）まちづくり協議会代表者交流会ワークショップアンケート結果報告
市民協働推進課より、配布資料に基づき、概要の報告と集計結果の共有があった。
 - (2) まちづくり協議会補助金（第4号：デジタル化促進事業）の活用状況
各まちづくり協議会より、活用状況について、情報の共有があった。
 - ア 【ゆずり葉】役員会を初めてオンライン開催で実施した。過去6回オンライン勉強会を行った成果なのか、自宅から参加できる人が増えてきたと思う。課題としては、対面参加者の声を拾い、オンライン参加者に届けることが難しかったこと、会場内の音響が響いたことがあった。課題は多くあるが、今後少しずつ改善していきたい。
 - イ 【末広】宝塚NPOセンターからワークショップの結果を踏まえて、要望があるかと連絡があり、福祉健康部としてスマホをどう使うかという勉強会を4回程度講座してもらったこととなった。スマホを持っている高齢者が何を求めているのかから話し合うことになった。大変有り難いことである。
 - ウ 【安倉】Wi-Fi、Zoomはなかなか理解が進まず、コロナ禍でも対面会議を行っているが、モニターを使用し分かりやすく説明ができるようにしている。スマホの講習会も実施予定。最初は初心者向けにテーマを決めず実施し、2回目以降、参加者の知りたい内容にテーマを絞っていきたいと考えている。
 - エ 【良元】昨日（12/13）、社協のステップアップ事業として認知症の勉強会を

小林会館とくらんど人権文化センターをリモートで繋いで開催した。これまで個人持ちの機材を使っていたが、購入した機材を活用できるようになり良かった。ただ、途中で通信が途絶えたため、通信状況もしっかりと確認しなければいけない。

- (3) (再周知) まちづくり協議会補助金(第4号:デジタル化促進事業)の実績報告
市民協働推進課より、12月9日付でメール送付した標記の件について、令和5年2月28日ㄨ(返還がある場合は、2月中旬ㄨ)である旨、再周知があった。
- (4) 市長定例記者会見の実施及び広報たからづか1月号の記事掲載について(予定)
市民協働推進課より、12月市長定例記者会見(売布小学校区まちづくり協議会同席予定)及び広報たからづか1月号の特集(売布小学校区まちづくり協議会、まちづくり協議会コミュニティ末広インタビュー掲載予定)で地域活動のデジタル化のPRを行う旨、事前周知があった。

4 新型コロナウイルス感染症を踏まえた地域活動

各まちづくり協議会より、地域活動の状況について、情報の共有があった。

- ア 【西山】わいわいフェスティバルを3月に実施予定。移動動物園、西山ガーデンの植物の案内板を間伐した丸太で子供たちが作成予定。
- イ 【長尾台】昨年に引き続き、11月6日に歴史講演会をZoomで開催した。講師2名。来年の3月に講演の内容である古墳についての冊子を作成予定のため、ご覧いただきたい。
- ウ 【西谷】12月4日に収穫祭を開催し、約2000名来場。飲食ブースを設けたが、飲食ブース以外のところで人と近い距離で飲食している人がいた。今回は、感染者の情報は出ていないが、大規模なお祭りではしっかりと感染症対策を行うことが必要であると感じた。
- エ 【安倉】ネットワーク会議が浸透していないということで、名称を「あくらの未来を考える会」として実施した。毎回テーマを変えても実行検証ができないため、今年度は地域の人々の声を聞いた上でどういうテーマに絞るか(の意見を出し合い)「まちのごみをどうするか」にテーマを絞ることとした。決めたテーマについて、みんなで協働できる体制を作る第一歩として、スタンプラリーやウォーキングと絡めることで、子どもも巻き込んでごみの減量、美化運動に繋がりたいと考えており、次年度以降もそういった事業を継続できればと思っている。他のまち協がどういったテーマでネットワーク会議を実施しているか知りたい。
- オ 【宝塚第一】地域交流部会が中心でネットワーク会議を実施しており、そこから生まれたのが、「温泉まつり」「Uganまつり」である。12月10日には地域在住の大学教授をファシリテーターとして「Z世代の考えるまちの未来」というテーマでワークショップを実施した。若い世代ならではの意見が多く出て、地域の

これからを考えるうえで、非常に参考となったと考えている。

5 上下水道局の広報誌特別号の発行（上下水道局）

（※当日議事の関係上、「8 宝塚市社会福祉協議会からのお知らせ」の後に実施。）

上下水道局より、配布資料に基づいて、説明があったのち、以下の通り質疑応答があった。

ア どう夢を持てばよいのか。

イ （市） 今後は人口が減少し、給水収益（利益）も減少するが、固定費は簡単に減らない。そういう意味では、夢のない話になってしまうかもしれない。ただ、固定費を圧縮する取組を今後より大胆にやっていきたいと考えているし、そもそも宝塚市単体で経営ができるのかなど、広域化に対する問題意識もある。そういった取組によって、サービス水準が著しく厳しいものにならないようにしていきたい。事務方としては経営戦略を持っていて、一定の料金改定を早急にすべきという考えをしており、審議会に諮問している状況。審議会から答申が出ると、市議会で審議いただくこととなる。厳しい状況をどう乗り越えていくかを2回目、3回目の広報誌で掲載できればと考えている。

ウ 大変難しい話である。市はどうしてくれるかという何かがないと、住民から質問が来ても答えようがない。「市は努力してるよ」としか答えようがないように聞こえたが。「販売価格を上げたい」等、方針を示さないと（いけないと思う）。ただ、「しんどい」という説明だけでは…

エ （市） 現在、料金改定について、審議会でも慎重に議論しているところで、まだ結論が出ていないが、2回目、3回目の広報誌を発行する時期には、そういった考え方が示せるようになっていくと考えている。

オ 結論が出てから説明してはどうか。

カ （市） そういった声もあるが、結論が出てから説明するのでは市民の方の多くは納得されないと思った。結論が出る前に、前倒しで詳しく説明をしなければご理解いただけないと、逆に懸念して、今回広報誌だけでなく説明をしていきたいと思った。

キ 我々（まち協）に何を求めるのか。

ク （市） 経営の内容を知ってもらい、理解してもらいたい。

ケ 資料を見ると、料金を2割ほど上げなければいけない感じを受けるが。

コ （市） 割合は別にして、料金の改定が必要になるという考え方は率直にしており、それも含めて審議会でも慎重に議論している。

サ 水は大切なインフラである。値上げする方向について理解を示してもらおうという旨、最初から示したらどうか。ただ、「しんどい」という話を聞くだけではなく、何か方向性があった方が話はよく分かると思う。

シ （市） おっしゃることはよく分かる。料金改定の必要性も含めて審議会でも検討

- しており、事務方としては、正直に料金改定が必要であると思っている。そのため、前もって説明させていただきたいと考えた。
- ス 方向性としては将来的に水道料金が上がると思う。原価が高い理由として、「地域が広い」、「高低差がある」の2つが挙げられているが、解決策はあるか。また、他に原価が高くなる理由はあるか。
- セ (市) 一つ目のご質問について、地形的の要因の大きな改善は難しいが、配水池を減らす、ポンプを減らす、配水池を便利なところに移転するなど技術的な工夫でコストを下げる検討を進めている。ただ、劇的な改善は難しい。二つ目のご質問について、確かに他の原因もあり、歴史的な要因があると考えている。市内の人口が7万人の時代に将来23万人になると予測でき、合理的な施設整備ができていれば、現状が少しは変わっていたかもしれない。無秩序な開発の進行に合わせてインフラを作らざるを得なかった歴史も原因として考えられると思う。
- ソ 将来どうなっていくかということを考えてうえで今どうしていくか（フューチャーデザイン）を考えて、もっと早い段階で検討できなかったのか。
- タ (市) 今の状況を振り返り、ご指摘に対して「無理でした」と真正面から言い返せる論拠は今持ち合わせていないが、水道市史を読むと、水源を確保する難しさを感じる場所がある。
- チ 説明いただいたことについては感謝する。是非、今後も情報提供をお願いしたい。
- ツ 遅ればせながらではあるが、必要なことをしていると思う。もっと早ければよかったと思うが。ぜひ検討し、結論出してもらえればと思うが、個人としては、宝塚市の水道料金は安いと思っている。地域の安全保障的にも水道は重要だと思う。また、気になることとして、若者がペットボトルの水を購入していることが心配である。水道事業は安全な水を提供するという今の状況を維持してほしいと思うため、値上げはやむを得ないと思う。

6 市民協働推進課からのお知らせ

(1) イベントを開催する際の留意事項について（消防本部予防課）

消防本部予防課に代わって、市民協働推進課より、配布資料に基づき、説明があったのち、以下の通り質疑応答があった。

ア 届出について、これまでと変わったところはあるか。保健所も別途届出が必要であることは変わらないか。

イ (市) 消防、保健所ともにこれまでと変わらない。コロナ禍でイベントばなれがあったため、再周知を行った。

(2) (再通知) 会計担当者会の開催のご案内

市民協働推進課より、12月9日付で案内があった標記の件について、出席者確認

の提出が12月28日である旨、再周知があった。

7 宝塚NPOセンターからのお知らせ

以下(1)について、周知があった。

- (1) 補助金・助成金事業一覧サイトの構築について(再周知)

8 宝塚市社会福祉協議会からのお知らせ

以下(1)～(2)について、周知があった。

- (1) フレミラ宝塚一芸先生について
(2) かむかむフレミラについて

9 その他

以下のとおり、情報共有があった。

- ア 【西山】 コープこうべにコミュニケーション支援ボードを設置してもらう活動をしているが、県や役所も運動を進めようとなっており喜んでいる。

10 今後の日程

市民協働推進課により、配布資料に基づき、令和4年度の開催予定について周知があった。

以 上